一般勘定　貸借対照表

（令和８年３月31日現在）

（単位：円）

資産の部		負債・剰余金の部	
科目	金額	科目	金額
（流動資産）	**2,902,960**	**（流動負債）**	**510,439**
現金・預金	2,902,960	未払金	110,293
（固定資産）	**400,966,401,578**	預り金	400,146
有形固定資産	6	**（特別法上の引当金等）**	**400,957,069,172**
建物	3	保険契約者保護資金	400,957,069,172
動産	3	保険契約者保護資産見返	400,957,069,172
投資その他の資産	400,966,401,572	**（負債合計）**	**400,957,579,611**
保険契約者保護資産	400,957,069,172	**（剰余金）**	
敷金・保証金	9,332,400	繰越剰余金	11,724,927
		（うち当期利益金）	(83,317)
		（剰余金合計）	**11,724,927**
資産合計	**400,969,304,538**	**負債・剰余金合計**	**400,969,304,538**

一般勘定　損益計算書

（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（単位：円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
（経常費用）	**1,000,828,836**	**（経常収益）**	**1,000,912,153**
保険契約者保護資金繰入	957,069,172	運営負担金収入	43,842,981
一般管理費	43,759,664	資産運用収益	957,069,172
役職員給与	22,400,000		
諸謝金	4,158,658		
旅費交通費	28,850		
事務費	17,172,156		
交際費	0		
減価償却費	0		
（当期剰余）	**83,317**		
当期利益金	83,317		
合計	**1,000,912,153**	**合計**	**1,000,912,153**

財務諸表等に対する注記

本財務諸表等は、保険業法及び定款等の法令等に基づく公正妥当と認められる会計の基準に準拠して作成している。

本財務諸表等の作成に当たり採用した重要な会計方針等は、以下のとおりである。

１．重要な会計方針

⑴　資産の償却について

減価償却資産（建物、動産、ソフトウエア）について、定額法による償却を実施している。

⑵　有価証券について

金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券の評価は、購入時の取得価格によっている。

⑶　特別法上の引当金等について

保険契約者保護資金は、保険業法第265条の28に定める資金援助等業務の実施に要する費用に充てるため同法第265条の32に基づき設けている。

⑷　資金の範囲について

資金の範囲は、現金・預金、未払金及び預り金である。

⑸　消費税等について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

２．翌期繰越金の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	2,827,947	2,902,960
未払金	△110,197	△110,293
預り金	△408,546	△400,146
翌期繰越金	2,309,204	2,392,521

３．減価償却資産の取得価額、償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	償却累計額	当期末残高
建物（建物附属設備）	1,492,000	1,491,997	3
動産（器具備品）	1,470,015	1,470,012	3
合計	2,962,015	2,962,009	6